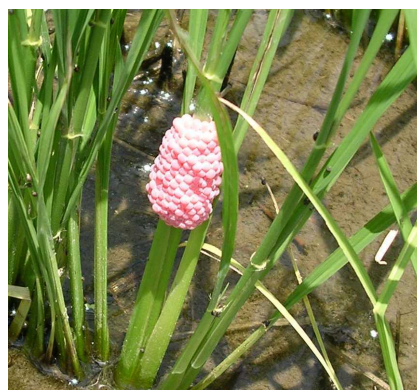


ジャンボタニシの被害防止について

田植え後～2週間までは対策を徹底しましょう



ジャンボタニシの成虫



ジャンボタニシの卵塊

防除方法

○浅水管理

- 株元の水深が深いほど移動しやすいため、代かき時の均平に努めましょう。
- この貝は水中でしか食害できないので、田植え後2週間は浅水管理（水深1 cm以下）をしてください。

○薬剤散布

- 田植え後、ジャンボタニシを確認したら直ちに散布する。

薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
ジャンボたにくん	1～2k g/10a	収穫 60 日前まで	併せて2回以内
スクミノン	1～4k g/10a	収穫 60 日前まで	

○貝、卵塊の捕殺

- 本田や水路で卵や貝を見つけたら踏みつぶすなどして完全に処分してください。
- 産卵後間もないピンク色の卵塊は、水中に落とすだけで死ぬので水中に落としてください。
- 水路からの侵入を防ぐため、取水口や排水口に金網（約2mmの目）を設置しましょう。

※詳しくは、当 JA 水稻春夏作栽培暦「ジャンボタニシ生態及び防除」をご参照ください。

※農林水産省「スクミリンゴガイの被害防止対策について」をご参照ください。